

2022年3月2日

## 「RICOH Interactive Whiteboard A6500-Edu」を新発売 ～学びの質を高める機能が充実の、シンプルで使いやすい電子黒板～

株式会社リコー(社長執行役員:山下 良則)は、「映す・書く・つながる・共有する」でコラボレーションを促進する電子黒板 RICOH Interactive Whiteboard(以下、RICOH IWB)の教育現場向けモデルとして、学びの現場で使いやすい充実の機能とシンプルな操作性を両立した「RICOH Interactive Whiteboard A6500-Edu」を3月15日に発売します。

新製品は、65インチで4K(3840×2160pixels)対応の高精細なディスプレイで、地図や映像などのコンテンツを細部までくっきりと表示できます。教育現場で、難しい操作をせずに直感的に使えるホワイトボードアプリケーションを内蔵しているほか、映像・音声データの送信、画面からの端末操作、端末への給電を1つの端子で行うことができるUSB Type-C<sup>®</sup>搭載など、シンプルな操作でスマートな授業が行える仕様です。さらに、1人1台端末時代の授業に対応した、児童・生徒のパソコン/タブレットからの無線投影機能を標準搭載しており、分割投影による回答の比較や、電子黒板からのリモート指導も可能です。

「Driving Sustainability for Our Future. ～持続可能な社会を、ビジネスの力で。」リコーは「質の高い教育をみんなに」の実現を目指し、教育現場のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進します。



<「RICOH Interactive Whiteboard A6500-Edu」ご利用イメージ>

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 株式会社リコー広報室 TEL : 050-3814-2806(直通) E-mail : [koho@ricoh.co.jp](mailto:koho@ricoh.co.jp)  
お客様のお問い合わせ先 リコーテクニカルコールセンター TEL : 0120-892-111



<「RICOH Interactive Whiteboard A6500-Edu」イメージ>

|       |  |
|-------|--|
| 製品名   | RICOH Interactive Whiteboard A6500-Edu |
| 画面サイズ | 65 インチ                                 |
| 発売日   | 2022年3月15日                             |
| 価格    | オープン価格                                 |

## 背景

リコーは2013年2月から、オフィスをはじめとしたさまざまな場所におけるコラボレーションを促進する電子黒板 RICOH IWB を発売し、主に働く現場を支えるデバイスとして活用されています。

一方、教育現場においては、2019年から、全国の児童・生徒1人に1台のコンピューターと大型ディスプレイやプロジェクターを含む大型提示装置、高速ネットワークを整備する「GIGA スクール構想」がスタートしました。新型コロナウイルス感染症の拡大による一斉休校により、児童・生徒へのコンピューターの端末配布が前倒しとなり、整備率も一気に上昇しました。整備した端末を有効活用し授業のさらなるICT化を進めるため、大型提示装置の設置も急務となっていることから、とくに教育向けにも活用しやすいシンプルな電子黒板の需要が高まっています。

## 「RICOH Interactive Whiteboard A6500-Edu」で提供すること

### 1. 細部までクリアな高精細 4K ディスプレイ

- 65 インチで 4K (3840×2160pixels) 対応の高精細なディスプレイを搭載。
- 広い視野角のほか、蛍光灯の映り込み防止、ブルーライトカットモードなどを搭載し、疲れにくく目にやさしい仕様。

## 2. 使いやすいUI(ユーザーインターフェース)

- USB Type-C<sup>®</sup>で、映像信号、タッチ操作、電源ケーブルを一本化。スマートな機器接続で、準備の時間も短縮できます。
- 操作パネル、機器接続インターフェースを前面に配置。背面に回ることなく、スムーズに利用準備・機器操作できます。

## 3. すぐに使えるホワイトボード内蔵

- ホワイトボードアプリケーションと2本のタッチペンが標準搭載されているため、電子黒板としてシンプルに利用できます。
- 投影画面にダイレクトに筆記可能なアノテーション(描画機能)モードを搭載。PC画面や電子教科書、画像や動画など様々な教材をIWB上に集約し、その上から板書が行えます。
- 便利なスタンドアロン型で、PCやアプリケーションとつなげることなく使用できます。

## 4. 1人1台端末時代に対応する、無線投影機能・ソフトウェア連携

- 児童・生徒のパソコン/タブレットから無線投影機能を標準搭載。最大9つの分割表示で、グループワークを比較するなど双方向性のある授業が実現できます。
- ブラウザーを標準搭載しているため、Web閲覧やクラウドサービスとの連携も可能です。
- タイマー、投票箱、画面録画、計算機、イベントカレンダーといった充実のコンポーネントで、スマートに授業をサポートします。
- 任意のアプリケーションも追加可能なため、Web会議システムによるリモート授業や、各種学習支援アプリケーションの使用も可能です。

※USB Type-C<sup>®</sup>およびUSB-C<sup>®</sup>は、USB Implementers Forumの登録商標です。

※記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

---

## | リコーグループについて |

リコーグループは、お客様のデジタル変革を支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約200の国と地域で提供しています(2021年3月期グループ連結売上高1兆6,820億円)。

imagine. change. 創業以来85年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、[ワークプレイスの変革](#)を通じて、人々の生活の質の向上、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>